

# 9月定例会

豊川市議会第3回定例会（9月定例会）は、8月29日から29日間わたって開かれました。9月3日からの3日間にわたり、一般質問が行われ、26名の議員が、市政全般についての市の考え方や方針をたえました。主な質問と答弁の要旨は、次のとおりです。

## 姫街道のアンダーと豊川駅東土地区画整理事業



一括質問方式

**【問】**年度内の改革プラン策定に関し、①病院業務を把握した管理者が、経営の権限と責任を持つ経営形態に見直すべきでは②東三河医療圏の病病連携は③ベッド数の増床は④総合医診療の考えは。

**【答】**①改革プラン策定会議でも、同様の意見をいただいた。反映させていく②新城市民病院との連携体制の協議は、優先的に進めている③県は、この圏域での病床数の見直しは必要との見解で、期待している④サービスの向上、医師の負担軽減につながる充実した機能の体制を、今後も検討していく。

## 豊川市民病院の改革プラン



一括質問方式

**【問】**「八幡地区に建設できないこともあるのでは」に対し『そのようなこともある』『それでは、他に候補地があるのか』に対し『他の候補地はない』と住民説明会で副市長が発言した真意は。

**【答】**これ以上の計画の遅れは、

## 住民説明会での発言の真意と農業基盤確立の支援



一問一答方式

**【問】**①姫街道のアンダー計画の今後の見通し②駅東区画整理事業進捗及び今後の見通し、また、古宿町の1号調整池の緑地整備——について伺う。

**【答】**①アンダー計画は、白川橋の架けかえ後になると思うが、JR・名鉄との事業化に向けた作業を今後も続けていく②19年度末現在で、事業費ベースで約55%。区画整理地内の幹線道路である豊川牧野線は、21年度までに鈴与踏切まで、三明線は、23年度までに姫街道との接続を予定。1号調整池緑地整備は、地元要望も取り入れる中で、来年度の整備着手を考えている。

**【問】**「八幡地区に建設できないこともあるのでは」に対し『そのようなこともある』『それでは、他に候補地があるのか』に対し『他の候補地はない』と住民説明会で副市長が発言した真意は。

**【答】**これ以上の計画の遅れは、

**【問】**①旧町営住宅の入居状況及び改築等の整備の考え②河川改修に伴う御津日暮住宅への対応③旧豊川市内の市営住宅との格差の認識——について伺う。

**【答】**①155世帯、305人が入居。老朽化のため、新規入居は現在止めている。改築等については、新たな計画をつくり、事業化する必要がある②御津川河川改修が、数年後には行われる見込みのため、立ち退きに該当する方の移転先住宅を市で確保が必要と考える③旧町営住宅は、利便性がかなり低く、格差を認識し

## 旧町営住宅の改築計画



一括質問方式

医師派遣が困難となるため、だめになることは考えず、八幡地区で決定できるよう、全力を傾けるといふ趣旨の答弁である。

**【問】**地産地消に取り組む農家への支援策は。

**【答】**こだわり農産物生産農家を増やすため、取扱店舗の拡大、ポスター掲示や広報、ネットなどで消費者へのPRを行う。

### ①病病連携

病院と病院が連携し、1人の患者を、その症状に応じて紹介しあい、医療サービスを提供すること。

ている。今後、住宅自体のハード面の格差解消が必要と考える。

## 新市民病院建設、休日夜間急病診療所



一問一答方式

【問】住民説明会の状況は。

【答】八幡地区周辺の11町内会で実施。900人の参加があった。八幡地区立地に好感触。交通対策等の意見、要望をいただいた。

【問】八幡駅からのアクセスは。

【答】駅へのエレベーター設置、又、駅から病院へのアクセス整備は、バリアフリー化を進める。

【問】新設バス路線の考えは。

【答】小坂井町を含む区域で、必要経費等を考慮し、関係部署・機関との協議を開始したい。

【問】休日夜間急病診療所の課題は。

【答】X線等の検査設備がなく、要検査患者には一度手間となる。



## 都市公園の現状とスポーツ公園の整備



一問一答方式

【問】本市の都市公園の現状は。

【答】19年度末現在、92カ所、約149・2ヘクタール。市民一人当たり9・3㎡。22年度末には、一人当たり約13・3㎡となる予定で、整備水準を充足する。

【問】スポーツ公園整備の進捗状況は。

【答】17年度から排水路の付加、敷地造成及び調整池築造などの基盤的工事を行ってきた。

【問】今後の整備予定は。

【答】今年度、県補助事業で、調整池周辺のフェンス工事、防衛省の補助採択を受け整備する約2ヘクタールの用地買収を予定、これを1期事業とし整備推進を図る。

## 戦略的な企業誘致の推進



一問一答方式

【問】市税収入を上げる観点での企業誘致の構想は。

【答】優良企業立地情報を早期把握し、企業ニーズに合った工業用地開発、トップによる強力な誘導策の検討が必要である。

【問】企業誘致の基本戦略に、あるべき目標を盛り込む考えは。

【答】当面は、現在の方針で推進するが、企業訪問による要望を受ける中で、取り入れるべきは取り入れていく。

【問】誘致推進の組織拡大及び、市長みずから交渉を行う考えは。

【答】専門の体制整備を今後、検討する。積極的な企業訪問で企業立地を推進する覚悟である。



一問一答方式

## ボランティア活動の活性化策、小・中学校の学校施設等の維持管理のあり方

【問】市が目指すボランティア活動の理想像は。

【答】行政とボランティア、市民活動団体、町内会、企業が対等な立場で、まちづくりを行う社会を理想とする。

【問】今年度創設した、学校サポーター事業の今後の課題は。

【答】学校が希望する活動に応募がないことや、活動に係る道具が不十分ということ、事業の周知や消耗品等の経費面での対応ができるよう取り組む。

【問】今後の学校施設の維持管理活動の進め方は。

【答】この事業が、学校や地域で有効に活用されるよう進める。

## その他の質問項目

- ・本市の観光事業
- ・休日夜間急病診療所
- ・看護師不足の対応
- ・地方公共団体財政健全化法の健全化判断比率
- ・保育所の給食
- ・環境問題

## ②学校サポーター事業

学校運営を円滑に行うため、各学校が必要とするボランティア活動の内容と人数を把握し、無償ボランティアを市民から公募し、学校内で活動してもらうこと。

## 名豊道路蒲郡バイパスの整備



【問】住民説明会開催が、今の情報ではいつごろなのか。

【答】道路設計に係る説明会は、来年度以降。事業変更に係る説明会は、年度内に開催できるように、名四国道事務所と協議したいと考えている。

【問】休憩施設の誘致と道の駅設置を調査研究する考えは。

【答】地域住民を始め、関係する団体などから要望が挙がり、必要性が生じた場合、対応を考える。

【問】仮称「東三河インター」の名称決定の時期は。

【答】①関係機関と協議を行い、年度内には決定したい。

## 発達障害



【問】①5歳児健診を行う考え  
②発達障害の子どもへの虐待や不登校への対応③発達障害理解の職員研修及び一般市民への啓発——について伺う。

【答】①有効性や支援のあり方が研究されており、国や県の動きに注視する②要保護児童地域対策協議会の中で関係機関と連携し、情報交換している。また、学校と保護者の連携指導が可能な「ゆずりは」も有効活用されている③保健師、保育士及び教員の研修は必要と認識しており、今後も各種研修への参加は重要と考える。講演会の開催、パンフレット等で啓発に努める。

合併後の新市域を対象とした文化財、施設の有機的な活用計画、東海・東南海地震などの大規模災害への備え



【問】合併により増えた文化財を有機的に結び付け、観光資源として一体的に活用する方策は。

【答】今年度中に文化財や案内標識等の現況を調査し、結果をもとに21年度、政策研究グループで新サイン整備計画を策定し、

④22年度、統一デザインによるサインを計画的に整備していく。

【問】試験導入した小中学校、保育園の3力以外への、緊急地震速報受信装置の整備方針は。

【答】来年度以降、全小中学校、保育園に設置していく。その他の公共施設へも、減災にあたっての有効な手段であることから、導入に向けて検討していく。

## 指定管理者制度



【問】来年度の指定管理の公募について、応募の状況は。

【答】1施設を除いて、各施設1社またはゼロの応募であった。

【問】応募が1社等と少なく、競争原理も働かず、コスト削減、サービス向上が見込めるのか。

【答】指定管理料の上限の設定、業務水準を明確化しており、応募者数に影響は受けない。

【問】関連施設を一括公募したため、管理施設が増大し、結果、参入企業が限定されてしまうのではないか。

【答】一括公募は、指定管理料

の削減、一元管理のメリットを考慮したものと認識している。

## 救急体制、御津臨海部の港湾事業



【問】①公平性の観点から旧御津町地域への救急車配置②御津1区にあるマリーナを利用した、海に親しむ事業の実施③港湾専門部署の新設——について伺う。

【答】①救急車到着時間の格差是正として、本署配備の2台のうち1台を、市の南部か西部方面へ再配置する等、消防の広域化も視野に入れ、計画策定を進める②マリーナ利用は、新市基本計画において、海の交流核として位置づけており、特に、子どもたちが海に触れ合う事業の研究を進めたい③今後も企画課を中心に、他団体と連携し、港湾事業に取り組んでいく。



### ⑤消防の広域化

消防の体制の整備及び確立を図ることを旨として、2以上の市町村が消防事務を共同して処理すること。

### ④サイン

案内標識や説明板のこと。

### ③ゆずりは

子供やその保護者を対象に教育相談を実施している心理教育相談室。

## 2つの合併後における本市のまちづくり



一問一答方式

〔問〕多くの市民により花を育てる活動が展開されるよう、緑化活動、PR方法を研究する。  
 〔問〕遊休農地を活用して、花を植栽する考えは。  
 〔答〕景観面でも好ましく、遊休農地解消としても推進したい。

## 鳥獣対策、花いっぱい運動



一問一答方式

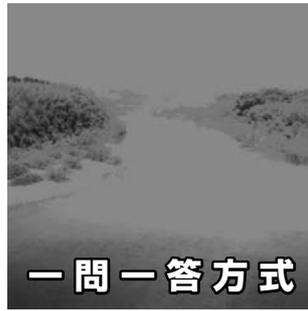
〔問〕農家を悩ませている農作物への鳥獣被害の対策は。  
 〔答〕猟友会による駆除・追い払い、電気柵等の購入費補助、注意看板設置等を実施している。また、鳥獣被害防止計画を今年度中に策定するため、実情の把握・調査を行い、検討していく。

〔問〕花いっぱい運動の今後の事業展開は。  
 〔答〕多くの市民により花を育てる活動が展開されるよう、緑化活動、PR方法を研究する。

〔問〕遊休農地を活用して、花を植栽する考えは。  
 〔答〕景観面でも好ましく、遊休農地解消としても推進したい。

〔問〕設楽ダム建設による豊川市負担分、約六億八千万円を支払う豊川市民のメリットは何か。  
 〔答〕利水、治水の面で大きな利益を受ける。また水源地向への助成や地域交流にも充てられる。  
 〔問〕ダム建設に頼らずに、より安価な河道整備で治水対策を

## 設楽ダム建設



一問一答方式

〔問〕合併後の総合計画によるまちづくりの考え方は。  
 〔答〕新市の方向性を明確にするため、基本計画の施策に地域の特色を生かし、再構築する。  
 〔問〕まちづくりを進める上で、各制度を統一せずに、地域に応じた制度とする考えは。  
 〔答〕合併時に激変緩和措置を実施した制度も23年度には統一される。統一制度としていく。  
 〔問〕県の都市計画総見直しを受けて、本市の市街化区域編入や用途地域変更の検討状況は。  
 〔答〕市街化区域編入は運用基準が厳しい。用途地域変更は該当地域の有無を調査中である。

〔問〕合併後の総合計画によるまちづくりの考え方は。  
 〔答〕新市の方向性を明確にするため、基本計画の施策に地域の特色を生かし、再構築する。  
 〔問〕まちづくりを進める上で、各制度を統一せずに、地域に応じた制度とする考えは。  
 〔答〕合併時に激変緩和措置を実施した制度も23年度には統一される。統一制度としていく。  
 〔問〕県の都市計画総見直しを受けて、本市の市街化区域編入や用途地域変更の検討状況は。  
 〔答〕市街化区域編入は運用基準が厳しい。用途地域変更は該当地域の有無を調査中である。

〔問〕国内他都市との友好都市提携を行う見込みはあるのか。  
 〔答〕観光交流のある志摩市、歴史的に縁のある長岡市、民間レベル交流がある函館市との提携を、今後検討していきたい。  
 〔問〕キュパティノ市との友好提携を市民に広げる方策は。  
 〔答〕11月に使節団が来訪するので、ホストファミリーとの交流を重視しつつ、市民に歓迎会への参加を広く呼びかけたい。

〔問〕国内他都市との友好都市提携を行う見込みはあるのか。  
 〔答〕観光交流のある志摩市、歴史的に縁のある長岡市、民間レベル交流がある函館市との提携を、今後検討していきたい。  
 〔問〕キュパティノ市との友好提携を市民に広げる方策は。  
 〔答〕11月に使節団が来訪するので、ホストファミリーとの交流を重視しつつ、市民に歓迎会への参加を広く呼びかけたい。

## 本市における、姉妹都市・友好都市に代表される「都市間連携」



一問一答方式

〔問〕ダム建設と併せて、豊川の流路・水路改修、霞堤内に小堤を設置するなど、総合的に治水対策をする計画になっている。  
 〔問〕最近では断水被害もなく、計画水量は足りているのでは。  
 〔答〕過去の節水や将来に備え、水源の増強は必要と考える。

## その他の質問項目

- ・本市のバランスシートと公表
- ・大木地区企業立地
- ・今後の合併
- ・地球温暖化防止対策
- ・大木区画整理事業
- ・一宮南部小学校区の児童クラブ設置
- ・大木小牧地区の企業用地開発
- ・「国の雇用促進住宅全廃」の問題
- ・医師・看護師確保の現状と課題
- ・国保料の値下げ、減免制度の創設等の考え
- ・介護保険 '09年度改定に向けての考え方
- ・野路工業団地の経緯と現状

とも協議の上、結論を出したい。

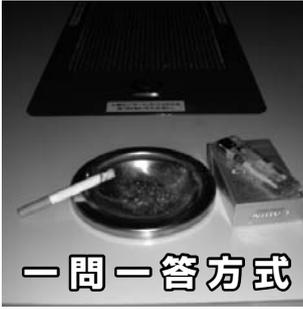
### ⑦中国無錫新区

中華人民共和国江蘇省の南部にある無錫市の行政区画の一つ。

### ⑥霞堤

河川堤の一つ。連続しない、切れ目のある堤で、切れ目周辺の堤内側は、あらかじめ浸水を予想されている遊水地で、洪水による堤の決壊の危険性を少なくさせる。

**山脇市長のマニフェスト、  
本市の健康施策**



**一問一答方式**

**【問】** 市民への情報伝達手段として、旧3町については、同報系防災行政無線が整備されているが、未整備の旧豊川市民への対応はどうするのか。  
**【答】** 有益性については十分認識しており、早期に整備したい。まず、屋外拡声器方式の整備に向け検討している。

**【問】** 災害発生時に、相互扶助の観点から「災害時相互支援協定（仮称）」を、豊川市と昔からゆかりのある、長岡市（新潟県）と締結する考え方はどうか。  
**【答】** 大変有効と認識しており、相手の意向も確認しながら検討していきたい。

**大規模災害に備えて**



**一問一答方式**

**【問】** マニフェスト工程計画の事後評価の実施や、その結果をどのように公表するのか。  
**【答】** 任期の年度毎に進捗状況を検証する。翌年度の5月頃に広報等で公表していきたい。

**【問】** 公共施設での受動喫煙対策の状況は。  
**【答】** 4施設で排煙装置がないなど対策が不十分となっている。施設利用の実情に応じて、分煙や禁煙にする検討をしている。

**【問】** 禁煙外来の設置やその治療費補助を行う考えはないか。  
**【答】** 現行の市民病院には設置スペースはない。保険適用の可能性もあり、助成の考えはない。

**【問】** ①コニカミノルタ敷地内から有害物質が検出された状況と対応策、また周辺への影響  
 ②八幡地区への早期着手予定であった下水道整備が、病院建設候補地になったことでの影響について伺う。  
**【答】** ①トリクロロエチレン、

**生活環境整備**



**一括質問方式**

**【問】** 旧一宮町での建設事業費比率は当初の18割台から9割台へと激減したが、原因と、今後、この比率を上げる要因は。  
**【答】** 新市の一体性の早期確立のため、必要な事業を優先した結果で、一宮地域での事業を縮小したわけではない。今後の事業は、保育園の調理室改修、大木地区の開発等を予定している。

**【問】** 誰もが等しく利用できる公共交通システム確立の方策は。  
**【答】** 地域公共交通会議で便利で効率的な公共交通について検討する。デマンド交通システムという予約制タクシーの運行形態

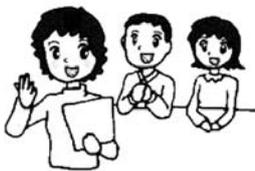
**一宮地区の合併後のまちづくり、  
市域全体の循環バスに関する取り組み状況**



**一問一答方式**

鉛が検出された。住民への説明、舗装・掘削除去工事、活性炭による地下水浄化を実施している。西古瀬川や周辺地下水は、検査の結果、基準値以下であった②病院建設に伴う迂回路や周辺道路整備により、下水道整備計画にも変更が生じる。病院の状況を踏まえ、早期着手する。

**【問】** 高齢者の医療費を無料化している自治体もある中、本市でも実施する考え  
 ②新市民病院の開院を待たずに、低料金の市内巡回バスを運行する考えについて伺う。  
**【答】** ①高齢者の進展により、医療費や現役世代負担が増している。高齢者に応分の負担を求め、医療制度改革の推進と医療費適正化を優先すべきで、多額の財源を必要とする無料化は困難であると認識している②開院時期によらず、23年度試行運転の後、速やかに運行したい。料金については、バス利用者に相応の負担をお願いしたい。



**高齢者の医療費負担軽減、  
巡回バスの早期運行**



**一括質問方式**

についても併せて研究したい。

**⑨トリクロロエチレン**

有機塩素化合物の一種。主に、半導体産業での洗浄用やクリーニング剤として用いられた。発がん性が指摘され、代替物質への移行が行われている。

**⑧同報系防災行政無線**

屋外拡声器や戸別受信機を介して、市町村役場から住民等に対して、直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム。

## 文化振興施策



一問一答方式

【問】①八幡地区は工場用地であるため、病院建設地として疑問である。環境に関する詳細な調査の必要性②黒字経営の市民病院を、国のガイドラインどおりに経営形態を変えていく必要性——について伺う。

【答】①消防法の届出に基づく危険物の適正な貯蔵・取り扱いは、大気環境の年1回の測定がされており問題ない。土壌汚染は、スズキが調査後、必要に応じて、除去改良を実施する②改革プラン策定会議で審議中だが、医療情勢の激変に対応するため、病院の管理者に、一定の裁量権を付与する形態にする必要がある。

## 新市民病院の建設予定地をスズキ工場用地とする問題点と市民病院改革プラン作成



一括質問方式

【問】文化施設は、文化振興施策に位置づけ、その目的達成のため、運営すべきと思うが。

【答】そのとおりである。市民が優れた文化に接し、また活動内容を発表する場と考えている。

【問】自主文化事業を計画的に実施する必要性の認識は。

【答】様々な調整が必要となるが、単年度の計画ではなく、事業実施できるような努めていく。

【問】まちの魅力でもある文化について、総合的な基本指針の必要性についての認識は。

【答】市民が心豊かな生活を送れるよう総合的、計画的に施策を推進する指針を調査研究する。

## 保育サービス等の子育てを支える社会的基盤の整備と放課後の子どもたちの健やかな育成支援



一問一答方式

【問】認可保育所と認可外保育施設における保育料の差について、軽減を図る考えは。

【答】現時点では助成は考えていない。ご理解をお願いしたい。

【問】延長保育と児童クラブの終了時間の相違への対応は。

【答】児童クラブは、保育園の

ように延長し、集約することは難しい。今後も状況を見ながら、検討することは必要である。

【問】放課後の子どもの居場所づくりについて、学校施設を自由に遊べる場とする考えは。

【答】各種体験教室の中で時間をとる、年間計画に組み込むなどで対処したい。

## 新市民病院建設候補地（八幡地区）の検証



一問一答方式

【問】スズキの売却条件とその交渉の状況は。

【答】スズキから都市計画道路蔵子線廃道と代替地確保が売却条件であるとの回答を得た。都市計画の法手続きは順次進め、代替地はスズキの意向を再確認後確保に努めるが、未定である。

【問】蔵子線の廃道等による、都市計画上の解決すべき課題は。

【答】都市計画マスタープランで示すまちづくり構想を見直し、八幡地区に建設するため用途地域の変更、また、廃道や迂回路による都市計画道路の変更も必要となる。当然、変更について

は住民の合意形成も必要となる。

## 次回の定例市議会（平成20年第4回定例会）

### ◆会期日程予定

11月27日	開 会	13時30分	12月 8日	中 日	13時30分
12月 2日	一般質問	10時	12月10日	常任委員会	10時
12月 3日	一般質問	10時	12月11日	常任委員会	10時
12月 4日	一般質問	10時	12月15日	最 終 日	13時30分

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局（TEL89-2150）へお問い合わせください。

市議会を傍聴しましょう